

令和5年度 学校評価 学校関係者評価書

学校名	北海道函館中部高等学校（全日制）
-----	------------------

1 スクールミッション（本校の存在意義や期待される役割）

○次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成
 ○多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成
 ○伝統と文化を尊重し、異文化への理解を深め、社会の発展に貢献し世界的視野で活躍できる生徒の育成
 ○生徒一人一人の可能性を最大限に引き出し、高い進路目標を実現するとともに、道南地域の拠点校として、地域や社会のニーズに応える教育活動を実践。

2 指導上の重点事項（重点目標）

- (1) 学校課題の共有と課題解決に向けた協働体制の確立
 (2) 社会に開かれた教育課程の編成・実施と函中コンピテンシーの育成
 (3) 地域の期待に応えられる学校づくりの推進

学校関係者評価委員会
杉田 直人
松浦 俊彦
落合 京子
阿久津 満希
天野 哲征

3 自己評価結果に対する外部評価

分野・領域	評価項目		自己評価①			外部評価委員からの評価と意見等	
	【主体的に取り組む生徒の育成】		通番	達成状況	取組の適切さ	評価	意見等
1 学習指導	1	教育課程の編成と適切な実施	1・17	3.1	B	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 授業内での探究的な学びや、ICT活用による学びの充実を一層図ってみたい。
2 導	2	教科横断、目標の達成に向けた授業改善	6	3.0	B		
3	3	知識・技能・思考力・判断力・表現力の育成	7	3.3	B		
改善の方策②		・知識・技能・思考力・判断力・表現力の育成が図られる探究的な学びの授業改善 が全教員の共通認識の下、年間を通じて取り組むように努める。					
4 生徒指導	4	【人権尊重、思いやる優しい生徒の育成】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 不登校やSNSトラブルなどの教育課題に対し、学校だけでなく外部機関と連携、協力しながらの対応が望まれる。
5 導	1	保護者との連携、規範意識の確立	8	3.1	B		
6	2	教育相談体制の充実	9	3.0	B		
改善の方策②		3 生徒に応じた有用感・達成感の育成 103・104 3.4 B					
改善の方策②		・教育相談を一層充実させ、個人面談や行事、学校生活等の場面で積極的に生徒との接点を作るにより、課題の早期発見、支援する体制を整える。 ・生徒の社会性や人間関係形成力が一層図られる、学校行事の工夫改善に努める。					
7 進路指導	7	【職業観・勤労観、奉仕活動に携わる生徒の育成】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 生徒の進路実現のための指導は、保護者や生徒の期待に十分に込えている。今後、総合型選抜や推薦などペーパーテストだけでは計れない選抜方法の対応を充実させてほしい。
8 導	1	キャリア教育の充実	10	3.1	B		
9	2	進路目標に応じた適切な支援	11	3.3	B		
改善の方策②		3 模擬試験等による客観的な進路指導 63・64 3.4 B					
改善の方策②		・学年会や職員会議など様々な機会を通じて、効果的な取組を全校で積極的に共有する組織的進路指導体制を整備する。 ・キャリア教育の充実のため、インターンシップや大学等の訪問等の体験的な学びの場の機会の一層の充実を図る。					
10 健康安全指導	10	【健康で豊かな感性を身に付けた生徒の育成】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 支援委員会による個別対応は大変であると思うが、必要な生徒支援を継続的に進めてほしい
11	1	生命尊重、安全に対する態度の育成	12	3.4	B		
12	2	分掌・学年との連携による円滑な指導	100	3.3	B		
改善の方策②		3 特別支援委員会による個別生徒対応 97 3.3 B					
改善の方策②		・感染症対策のみならず、薬物乱用防止や心の健康管理など、生徒が個々に健康で安全に生活していける自己指導力の育成を一層図る。 ・様々な課題を抱える生徒の状況把握に努め、保護者・関係機関と連携して学校生活を支援する体制を整理する。					
13 組織運営	13	【学校課題の明確化と協働体制の確立】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 教員間の合意形成を大切にしつつ業務の簡素化を進めてほしい。
14	1	函中コンピテンシーに基づく生徒の育成	21	3.0	B		
15	2	学校課題の共有、協働体制の確立	14・15	2.9	B		
改善の方策②		3 教員の服務規律保持と危機管理意識の高揚 26 3.3 B					
改善の方策②		・委員会による課題の集約、検討などを継続的に進めていく。 ・時間外勤務時間の縮減に向けた具体的な取組を推進し、働き方改革を一層進める。					
16 研修	16	【教科指導力向上と校内体制構築のための研修】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ A 学校課題に係わる多様な課題について、研修を着実に進めてほしい。
17	1	教科指導力向上を図る校内研修の実施	45	3.7	A		
18	2	危機管理能力向上を図る校内研修の実施	24	2.8	B		
改善の方策②		3 先駆的指導法・体制づくりの視察研修 113 3.5 A					
改善の方策②		・探究的な学びを踏まえた授業改善に関する研修を実施し、SSHの取組とともに一層充実させる。					
19 保護者、地域住民との連携	19	【地域の基幹校としての取組】	通番	達成状況	取組の適切さ	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 進学実績は素晴らしい一方で、入試倍率が低調であることから、管内中学校への広報活動の充実が一層望まれる。
20	1	保護者に向けた適切な情報提供	39	3.4	B		
21	2	PTA、各種保護者団体との連携	34・35	3.6	A		
改善の方策②		3 管内中学校など他校種、地域との連携 23 3.0 B					
改善の方策②		・地域との連携を踏まえた取組などを活性化させ、地域から信頼ある学校づくりに一層取り組む。					
22 その他	22	1 生徒アンケート、保護者アンケートの実施	118	3.4	B	自己評価①の適切さ B	改善に向けた方策②の適切さ B 保護者向けの情報提供に関して、アプリなどを活用したデジタル化の推進が望まれる。
改善の方策②		・生徒の変化を適切に把握し生徒の状況に応じた目標設定ができるように努める。 ・生徒アンケートや保護者アンケート等の結果から、さらなる改善策を具体化できるように努める。					